



井川健《流れ雲》W2110×D450×H270 mm | 漆・ワシントンヤシの葉柄・木等

## 井川健 漆展

## 塗りを纏う

二〇二五年

六月十四日〔土〕—六月二十九日〔日〕

〔時間〕十二時—十九時 〔休み〕月・火曜日

●オープニングレセプション 〓 十四日〔土〕十七時—十九時

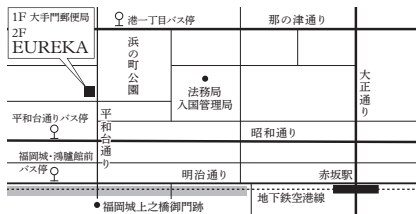
「塗りによる造形」が一貫した制作のテーマです。「塗り」には塗るための素地が必要です。素地は漆ではありませんが、素地にはいろいろな素材があり得ますし、加工法もいろいろと選べます。通常、漆が関わるのは素地の形ができてからですが、形作りの段階にも漆が関わるとより漆の造形と呼べるものになるのではないかと思います。

上塗りの前、素地があり、その上に下地層があり、その上に下塗り中塗りがある。下地や研ぎによって素地の質感や特性を覆い隠し均質にするのか、素材感を残すのか。上塗りはその上に纏わせるものです。

宇久画廊の川上さんからお話をいただいていたのがきっかけで、福岡では初めての個展を開催させていただくことになりました。造形と共に塗りの美しさや凄みを感じていただければ幸いです。

## 井川健プロフィール

1980年兵庫県生まれ。小中高を東京で過ごす。伝統工芸に興味を持ち京都市立芸術大学工芸科に進学し漆工芸を学ぶ。シャープな塗り面を特徴とする。髹漆と言われる装飾によらない塗りのみによる表現を行う。現在佐賀大学芸術地域デザイン学部教授、漆・木工芸を教える。ヤシの葉を貼り合わせて造形するなど、素地に何を使い、どう作るかということに興味を持ち制作している。受賞歴に2017年 金沢・世界工芸トリエンナーレ大賞など。



〒八〇〇〇七四  
福岡市中央区大手門一十九三〇一  
電話・ファックス 〇九二一四〇六四五五  
<http://eureka-kuoka.com>